

## 臨床研究の実施について

愛知学院大学薬学部医療薬学科薬物治療学講座では倫理委員会で審査され、学部長の承認を得て以下の臨床研究を全国の大学病院、医療機関と共同で実施しております。本研究では、患者さんのカルテに記載された所見など、既に存在する診療情報を利用させていただきます。国が定めた指針に基づき対象患者さんなどから直接同意を取得する代わりに、研究の目的を含めて情報を愛知学院大学薬学部医療薬学科のホームページに公開します。更に対象患者さんなどには拒否の機会を保障することが必要とされています。この研究の対象に該当し、診療情報等が利用されることにご了承できない場合など、お問い合わせがありましたら、下記のお問い合わせ先へご照会ください。

なお、研究不参加を申出られた場合でも、以後の診療において何ら不利益を受けることはありません。

### 1) 課題名

ウイルソン病の予後調査

### 2) 研究責任者

愛知学院大学薬学部医療薬学科薬物治療学講座

教授 加藤 宏一

### 3) 研究の対象

北陸大学薬学部薬物治療学講座と愛知学院大学薬学部医療薬学科薬物治療学講座でウイルソン病の責任遺伝子 *ATP7B* の解析を受け、他の臨床所見と合わせウイルソン病と診断された約 60 名の患者さん。

### 4) 研究の目的・方法

古典型ウイルソン病と現代のウイルソン病を比較検討し、実態の把握と課題を提起する。

### 5) 研究期間

愛知学院大学薬学部での倫理審査終了後から 2022 年 3 月 31 日

### 6) 研究に利用させていただく情報

我々の施設（北陸大学薬学部薬物治療学講座と愛知学院大学薬学部医療薬学科薬物治療学講座）で、ウイルソン病を疑われ *ATP7B* の遺伝子解析をした患者さんで、最終的にウイルソン病と確定診断された患者さんの既存の診療記録から臨床情報および検査情報を収集します。

### 7) 参加機関

試料・情報の収集・解析と論文化：愛知学院大学薬学部医療薬学科薬物治療学講座

試料・情報の提供：名古屋大学医学部附属病院消化器内科、名古屋大学医学部附属病院神経内科、神戸大学医学部附属病院肝胆膵外科、名城病院消化器内科、JA 愛知厚生連海南病院消化器内科、豊橋市民病院脳神経内科、豊橋市民病院糖尿病・内分泌内科、赤岩病院内科、近森病院消化器内科、兵庫県立加古川医療センター消化器内科、鳥取県立厚生病院消化器内科、香川県立中央病院消化器内科

### 8) 個人情報の取り扱い

個人情報は匿名加工し、交換表を研究責任者が厳重に管理します。従って、患者さんを特定できる個人情報が洩れることはありません。また、学術雑誌に研究成果を報告する時も、個人を特定される情報が公開されることは

ありません。

9) 問い合わせ先

愛知学院大学薬学部医療薬学科薬物治療学講座

〒464 8650 名古屋市千種区楠元町 1-100

TEL052-757-6779、FAX 052-757-6799

教授 加藤宏一

研究員 林 久男